

清潔・誠実・実行力

市議会議員

深山たかし

上尾に活力 地域力向上



議会レポート

上尾市商業の振興に関する 基本条例を制定

上尾市の周辺でも巨大な大型商業施設の建設が目立ち始めました。

近隣で生活されている方々にとつて、買い物が便利になる反面交通渋滞や、夜の騒音ゴミ問題など生活環境が悪化する部分もあります。

また、地元にも溶け込んで



シーアイ化成跡地の大型商業施設

いる既存店との競合で、店舗の廃業や商店街そのものが消滅し、地域が荒廃してしまつた事例も国内では多数見受けられることから、

商工会議所、市民、大・中規模小売店の役割をそれぞれ明文化いたしました。

商店会の責務は「にぎわいと交流のある地域づくりを務める」。大・中型店については「自ら地域の構成員という認識に立って」地域に貢献する事業に参加、協力する努力規定を盛り込みました。

地域貢献に積極的な大規模小売店舗もありますので、施策の応援をしたいと考えております。

市内で今後、拡張・移転が予定される施設

老朽化した消防署大石分署を移転して、支所、図書館を併設した複合施設として整備する、そのための実施設設計等の経費が提案されました。

消防分署の移転は、行財政三年計画でも予定されておりましたが、納得はできませんが、市当局からは、なぜ図書館や支所と複合にするのか充分な説明は貰えませんでした。

市の図書館行政は今後どうあるべきか論議した上で計画してほしいものです。



老朽化した消防大石分署



改修計画のあるJR上尾駅

この四月から「上尾駅整備対策室」を「上尾駅整備室」にし、実施設計の予算がつきました。

今のところ計画自体流動的な印象を持っております。

新井市長の選挙公約でもありましたが、「ここにきて、市民の間で必要ないというところであれば、シェアールに頭を下げてでもやめてもいい」と言動に変化が出てきました。

どうしたいのかを明確に説明すべきであると思っております。

一般質問項目

一般質問の抜粋記事

○「緑地を増やす工夫と取り組み」について

編集後記

○ 財政問題について

・市債残高と今後の起債計画について

・公債費と償還条件及び償還計画について

・基金残高及び今後の運用計画について

○ 公園・緑地整備計画について

・公園の整備・計画（具体的な実行計画）

・緑地の整備・計画（具体的な実行計画）



【問】 市債残高と今後の起債計画について

十二月に公表された十六年度決算で特別会計、土地開発公社借入金債務保証額等を合わせて十八年三月末現在でどのくらいの合計残高あるのか。今後予定される社会資本整備事業も多額な費用を必要と考えるので、方向性とその考え方を合わせて答弁してほしい。

【答】

平成十七年度末におけます上尾市の地方債残高につきいて、普通会計では約六四三億円、公共下水道事業特別会計では約一九一億円、水道事業会計では約百十億円、全体では約九四四億円。前年度末と比較し、約十四億円の減額となったところ。ほかに、土地開発公社の長

期借入金が、約七二億円。

今後の起債計画については、その財源としては、補助金等を最大限利用するとともに、「財政負担の年間調整」及び「世代間の負担の公平性」の観点から地方債の活用も必要であると考えている。

地方債の発行については、有利な起債メニューの選択のほか、地方債残高の状況を勘案しながら行っていきたい。



貴重な緑の残る大正製薬跡地

平成一七年度には「原市ふるさと」の緑の景観地」を埼玉県と共同で二〇九七㎡の公有地化を行い、保存樹林については三九四〇㎡の新規指定を行った。

桜オーナー制度については、市民、事業者の協力で、丸山公園に九三本の桜の植樹を行い、西ロータリークラブにより丸山公園拡張用地に、上尾市スポーツ少年団の協力を仰ぎ、コナラなど五〇〇本を植樹するなど、市民、事業者、行政が一体となって緑づくりを展開しているところ。

また、緑化推進事業のひとつとして、家を新築された方々に、「ハナミズキ」「ライラック」「ユスラウメ」などを配布している。

平成一七年度は九一七本の苗木の配布を行ったところ。

一二年度に向けて逼迫した財政運営を行わなければならぬことが解ったが、何故か市当局の答弁に緊迫感が感じられない。「上尾市だけではない」とこの自治体も同じなので大丈夫」との考え方が根底に流れているのかも知れない。今までとは違った舵取りが必要なのに認識にずれがあるように思う。

やはり、市民の貴重な税金を使って市政運営をしなければならぬのだから、危機感を抱いて貰いたい。思いつきに等しい建設計画が多い気がしてならない。

発行元：深山たかし後援会
発行責任者：深山孝
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

ホームページは、検索サイト、”深山たかし”で閲覧できます。